

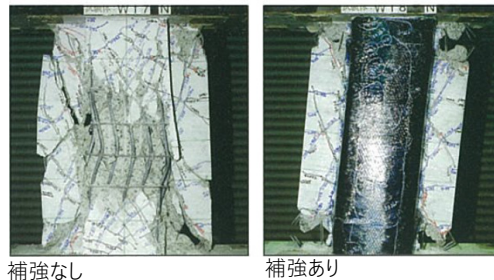


CFアンカー工法

「CFアンカー工法」は、炭素繊維シート巻き立てが困難な場合の炭素繊維シートの端部定着工法です。CFアンカーを用いた工法は、従来工法より軽量かつ耐候性に優れ、工期とコストの縮減を図ることが可能です。

- **建築限界に影響しない**
比重が軽く、高強度、施工仕上がり厚さの薄い炭素繊維シートで補強するため、建築限界に影響を与えにくい
- **高い耐震性**
橋脚、主桁等にも確実な耐震補強が可能
- **優れた施工性**
重機や溶接が不要、工期の短縮が可能
- **高い経済性**
施工計画の優位性や工期短縮により他の耐震補強工法と比べて経済性に考慮した設計が可能

▼施工性に優れ高い耐震性能を發揮します。



ラインアップ

【炭素繊維シート】

品番	繊維種類	繊維目付 g/mm ²	設計厚さ mm	引張強度 N/mm ²	引張弾性係数 N/mm ²
FTS-C1-20	炭素繊維(高強度)	200	0.111	3,400	2.45 × 10 ⁵
FTS-C1-30	炭素繊維(高強度)	300	0.167	3,400	2.45 × 10 ⁵

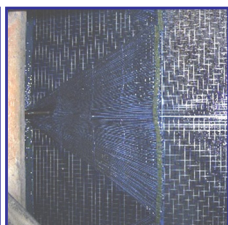
【CFアンカー】

品番	24K ストランド 本数	施工時 ストランド 本数	製品幅 mm	対応炭素繊維シート(例)		
				目付	横層数	アンカー ピッチ mm
FTA-C1-16	16	32	125	200	1	200
FTA-C1-24	24	48	125	300	1	200
FTA-C1-32	32	64	250	200	2	200
FTA-C1-48	48	96	250	300	2	200
FTA-C1-50	50	100	250	300	2	200
FTA-C1-65	65	130	250	300	2	200
FTA-C1-72	72	144	250	300	3	200



特徴

- ▶従来現場で作製するCFアンカーと違い、工場製造品のため品質が安定しており、CFストランドを束ねる際に数を数える必要もありません。
- ▶施工性に優れ、歩掛りが向上します。
- ▶CFアンカーを扇型に広げる事が容易に出来ます。
- ▶特殊加工したCFストランドであるため、樹脂を含浸しても膨らみにくく、貫通型の施工の場合、穿孔径が従来より小さく施工でき、樹脂ロスも低減できます



＜ご注意とお願い＞ 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。